

令和6年度 上田市立長小学校 学校関係者評価シート

○ 評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった

<p>学校教育目標</p> <p>かしこく きよく たくましく</p>	<p>めざす子どもの姿(中期的目標)</p> <p>◎「かしこく」 自分をふりかえり よく考える子</p> <p>◎「きよく」 ともだちとかかわり 思いやりのある子</p> <p>◎「たくましく」 すずんで取り組む ねばり強い子</p>	<p>総合評価</p> <p>・学校にいくたびに先生や児童たちの明るい挨拶に「ほっとする」思いである。 ・どの教室にいっても「のびのび」と学習している児童を見ることができ嬉しく思う。 ・子どもたちが学校は楽しいと言って、元気に通学している姿に接することは嬉しいことである。 ・運動会、音楽会の児童と先生の一体となった発表はすばらしい。子どもは地域の宝、大きく成長してほしい。子どもたちから元気をもらった。 ・少人数の学校の良さを生かして1年生から6年生までが目標を達成できたのではないかと思う。この真田の自然の中で児童が全体的に生き生きしており、読み聞かせ4年目になるが、児童と一体となってきたように思う。低学年は思った感想を言ってくれるし、高学年もしっかり聞いてくれている姿勢が感じられる。中には居場所のない児童もいるかと思うが、「長っ子ルーム」が居場所となり、学校生活が楽しく遅れることを期待している。 ・子どもたちと接することで、学校内やクラス内で温かい雰囲気や絆を築きあげることができていると感じる。 ・小規模校ならではの行き届いた指導がなされていると思う。 ・日常の子どもたちの元気よい挨拶や明るい学習の様子や生活態度等を見ることができた。 ・運動会や音楽会等を見ても、みんなで何かを作りあげようとする異性がみられどの学年も素晴らしいと感じた。 ・日常的な挨拶のできる子が多い。挨拶は大人になっても大切なものなので、より多くの子どもが気持ちよく挨拶ができる学校になればいい。 ・「学校は楽しいですか？」の設問で7月よりも12月が「とても楽しい」の85%から20%ほど増えている。学校が楽しいと感じられるのは、先生方を中心として保護者、地域の方々子どもたちを真に大切にしているからだと思われる。</p>
---	--	---

分野	評価項目	評価の観点	学校関係者評価				学校関係評価者による意見	
			A	B	C	D		
重点目標		自己発揮できる子どもの育成	○				・子ども達が毎日の生活や学習の中に、また、様々な行事の中で表現できるようになっていくことである。今自分にできることは自分でしっかりやる、という生活習慣(家庭生活)を身につけてほしいと思う。 ・1年生から6年生までが自己発揮できていると感じる。読み聞かせで学校へ行く機会が多々あるが、児童一人ひとりの目が輝いていた。入った瞬間、活気がある学校だと思った。	
教育活動	授業・研究	子どもの実態をもとにした授業・研究～ ①「知る」＝実態把握 ②「仕掛ける」＝指導・支援 ③「振り返る」＝省察	日々の授業の中で子どもの実態を蓄積し、教職員で共有することができたか。		○		・授業の中で子どもの実態を蓄積し、教職員で共有することを継続してほしい。	
		子どもの実態をもとに、子どもとつくる授業づくりができたか。			○		・子どもの実態をもとに、子どもとつくる授業づくりの取り組みを継続してほしい。 ・先生方には個性を生かし、元気に子どもたちへの指導をお願いしたい。そうすればさらにすばらしい学校になると思う。 ・よきにつけ悪きにつけ、スピード感があり、一人ひとりの子どもの実態を把握するのは難しいと感じた。	
		日々の教育活動(授業実践)を振り返り、日々の教育活動(授業実践)に生かすことができたか。		○			・日々の教育活動を振り返り、それを日々の授業実践に活かすよう継続してほしい。 ・児童の学力差に対する先生の指導を学校全体で考えていることに感謝する。 ・日々の教育活動は、一人ひとりがわかるように行っていると感じている。先生方の努力はともありがたい。	
	学級	一人ひとりの居場所がある学級～よさを認め合う活動を柱として～	一人ひとりの自信(自尊心)につながる場を設定し、継続しているか。		○			・自信につながる場を設定した仕組みづくりを継続してほしい。 ・児童の個性を理解して接しているように見える。 ・児童数が少ないメリットを生かし、どの子にも目が届いているので、学校へ行くのは楽しいにつながっていると感じている。
		子どもの実態を的確につかむために、子どもと対話し、教育相談を学期に1回行っているか。		○				・子どもの実態を的確につかみ、子どもと対話し教育相談を継続してほしい。 ・つまづいていた一人の子が一年を通して大きく成長したと感じている。家庭と教育相談を行い居場所がつけられていると感じている。
		家庭・学校・地域へ広がる あいさつ活動を進めているか。		○				・地域内で会っても会釈・あいさつをしっかりとっている。横断歩道での車のお礼の姿勢は素晴らしい。 ・先生方にはよい挨拶を、学校と家庭とで行い心のエネルギーの注入を継続してほしい。 ・見守り隊をさせていただき、目増しにあいさつがしっかりとできてきていると感じている。できない子はその子の個性と今までは受け入れている。なぜなら声は出なくとも顔はうなずいているので、それがその子の挨拶だと思っからである。
地域	地域と共に歩む～長っ子コミュニティスクールを柱として～	子どもの思いや願いと地域の素材をかけあわせた教育活動を取り入れることができたか。		○			・ふれあい伝承広場で地域の人達と全校の縦割りグループでの活動を継続してほしい。 ・忙しい中とは思いますが、先生方も学校田の管理及び作業等について関心を持って見守っていただければと思う。 ・4年生の藍染体験はすごといいと思った。種から育て染めるまでの過程、出来上がった作品の販売、子どもたちは楽しい教育活動だったと思う。	
	長の自然・歴史(真田)・文化・伝統に学ぶ体験活動や交流活動を取り入れるために、地域の人材を発掘することができたか。		○				・「長っ子ルーム」の活動が始められ、より地域との関係が深められると思う。 ・米作り体験において、今年は田がぬかかって大変だったが、児童たちは一生懸命頑張った。 ・伝承広場を受け入れていただき感謝している。 ・長の歴史文化の資料室の活用の工夫をしてほしい。 ・真田氏の歴史を学んでいることを聞いた。この地域にはたくさん学ぶところがある。自分の生まれた地域を誇れる児童になってほしいと思う。	
児童会	願いの実現に向けて団結できる児童会～役立つ喜びを得る活動を柱として～	「笑顔溢れる長小学校」の実現に向けて、人に役立つ喜びを得られる活動を取り入れることができたか。		○			・学校で会う子どもたちが「生き生き」していることで理解できる。 ・学年を越えて、高学年が低学年に関わっている様子が見られてよかった。わが孫も高学年の児童の名前をしっかり憶えている、少人数の学校のよさだと感じる。	
		あいさつが響き渡る学校の実現に向けて児童会活動として取り組むことができたか。			○			・「挨拶が響き渡る学校を」の児童会スローガンをもとに代表委員会を先頭に各委員会の活動が見られる。 ・挨拶はしっかりとできている。
学校運営	地域連携	情報の発信	学校だより、学年だより、ホームページ、学校メール等で、自己発揮している子どもの様子を知らせているか。		○			・学校だより「夢を紡ぎて」は、自治会の回覧でも機会あるごとに読ませてもらっている。 ・学校だよりで行事等のコメントで子どもたちの元気な様子がわかり、自己発揮している様子がわかる。 ・学校行事やOSの様子など、全戸回覧での伝達はよい。丁寧に広報がなされていると思う。 ・学校だよりは楽しみになっている。さらに情報発信してほしい。
		CS運営委員会の運営	今年度の運営はよかったか。(開催時期・内容等)			○		・今年度の運営がよいと思う。運営委員会の時間をもっと多くても良い。 ・委員の我々が学校の希望にこたえきれていない。 ・二度の開催でいいかと思うが、学校により関わられる機会があってもいいかと思う。
	学校作り	危機管理	学校メールを活用し見守り隊と協力したりしながら、児童の安全・安心を確保しているか。非通行研修に取り組んでいるか。		○			・見守り隊の皆様毎日の登下校時大変感謝している。 ・見守り隊の人数が少なく心配。来年度は何かを増やしたい。 ・学校メール等で随時危機等の知らせが届き、安全安心がわかり取り組めたと思う。 ・見守り隊の通学路の見守り等で安全安心が図られていると感じている。非通行行為についてもしっかり取り組んでいると思う。